

打でよ、 ぎ巧 と	ノこ見生	の建役を予定しています。	◎「柳沢地区・山田イン
、- 予(定		考えていますので、皆さ	ター北側」を予定地に
_	?をお願いします。		委員会においてさまざまな
◆問い合わせ 町	町民課生活安全チーム(182-31	11内線125)へ。	候補地を検討し評価した結果、
			「山田第1地割(柳沢地区)
っとことノ沂	本体の老朽化に加え、高齢化社	とした空間があり、十分な駐	三陸縦貫自動車道山田イン
ų	会の進展により今後見込まれる	車場を備えている	ター北側の民有地」を建設予
の必要に	火葬件数増加への対応など、速	③ 安心感 …高齢者も安心して利	定地として選定しました。理
の斎場(織笠地	更新が求められていま	用できるユニバーサルデザイ	由としては次のとおりです。
建設されてか	用地についても、長年にわた	ンの採用	・町の中心部からの距離が適当
が経過し、施設	権者の厚意によ	④荘厳さ…人生最後のお別れに	であり、町内各地区からのア
化が進んでいま	していましたが、まもなく契約	ふさわしい雰囲気・景観を有	クセスが容易
れまで、駐車場	期間が満了となるため、土地を	した斎場	・山田インターに接し豊間根・
ど改善に努めて室などの増設・	周辺環竟の面でも、斎湯まで返却する必要があります。	◎建設候補地の選定条件	町外利用者にも分かりやすハ船越地区からもアクセス良好
たが、施設の限	の道路が狭く、坂道であること	新斎場の建設候補地は、斎場	・周囲が山と緑に囲まれた閉鎖
のニー	から、特に降雪時の利用が大変	に求められる姿の実現が可能な	されたエリアで、周辺環境と
に応えられてい	で、除雪にも苦慮してきました。	土地を選定し、3つの条件を基	しては好条件
況にありました。	このような状況から、現斎場	本として候補地を選定しました。	②予官也周昏こ盲戶ノます
炉についても炉	とは別の場所に新たな斎場を建	①斎場に求められている姿が、	《予定社訓査に著手します
	設する必要があり、町では庁内	規模や形態、周辺の景観など	建設予定地について、これか
	検討委員会を立ち上げ、新斎場	から実現可能であること	ら測量や地質調査、環境調査等
	の建設候補地や規模について協	※新斎場の建設に必要な面積規	により、新斎場の建設場所とし
	議を重ねてきました。	模を確保できること	て適当かどうか等の調査に着手
词调	② 折寄易に たりられるらり	②交通利便性が、距離や時間、	します。また建物や駐車場等の
る斎	◎ 亲斎はいすめられるもの	経路などの面で高いこと	配置や規模を検討する等の基本
τιι	委員会では、新斎場に4つの	※幹線道路からできるだけ生活	計画を策定し、時期を見て、住
in T	姿を実現したいと考えました。	道路(民家前)を経由しない	民説明会を開催する予定です。
用さ	① 安らぎ …緑と静けさに包まれ	で進入できること	☑ 戊
主使	た落ち着いた環境の中にある	③土地利用が、インフラや諸条	◎平瓦3左 伊月 昇如を目標
現在	②ゆとり…建物は広くゆったり	件などの面で可能であること	火葬炉試運転や従業員の技術

増築など改善に努めて

や待合室などの増設・ す。これまで、駐車場

ない状況にありました。

に十分に応えられてい

界から皆さんのニーズ きましたが、施設の限 の老朽化が進んでいま ら3年が経過し、施設 内)は、建設されてか

現在の斎場(織笠地

施設が必要に 老朽化により

0

新

命但

-成30年供用開始目標に

設

い土地は除く

新斎場の建設予定地

※既存の土地利用計画や各種 法規制を変更・解除できな

(45)

します。 力をお願いします。 ら、新斎場建設へのご理解ご協 要性が再認識されました。 れることに抵抗を持つ方も少な を解体し、 が必ず使う施設」であることか ること、そして、「すべての町民 心やすらかに見送る場所」であ 煙突で文化施設的外観です。 くありません。しかし、最新の ◎新斎場にご理解ご協力を ました。供用開始後は、旧斎場 月を新斎場供用開始の目標にし 斎場の目的は「大切な人を偲び が絶対条件」であり、建物も無 火葬炉は「無臭・無煙・無公害 メージが大きく、周辺に建設さ 研修期間も考慮し、平成30年1 東日本大震災では、斎場の重 斎場という施設はマイナスイ 山田道路 建設予定地 ●山田北小学校 用地を地権者に返却 山田IC 山田湾 45